南部中ホームページ （http://www.nanbu-chu.ed.jp/）はこちらから →

南部町立南部中学校　学校だより　R8第6号

城山の風

令和8年7月3日（金）

校長　樋口信也

キャリア学習

2年生：職業ガイダンス　3年生：高校学習会

キャリア学習の１つとして、２年生は６月１７日（水）に職業ガイダンスを、３年生は６月１９日（金）に高校学習会を行いました。

職業ガイダンスは、職場体験をするにあたって仕事をする上で大切なことを職業人から教えてもらうために行っています。今回は、昭和町にある、さの皮フ科クリニック院長の佐野信也さんに講師をお願いしました。



佐野さんは、「職場にはいろんなプロフェッショナルがいて、それぞれが役割を果たすことで組織として大きな仕事ができる。その過程で大切なのが互いにコミュニケーションを取ることだ。」とコミュニケーションの大切さについて話してくださいました。また、コミュニケーションを取る上で、人の話を聞くということと自分の意見を言うこと、そして返事をすることが大事だとも話してくださいました。

高校学習会は、身延高校の有泉教頭先生と身延山高校の村松教頭先生においでいただきました。有泉教頭先生には、高校の基本的なこととして、公立と私立、全日制・定時制・通信制など種類や制度のこと、また、高校と中学校との違いなどについて説明していただきました。村松教頭先生には、身延山高校の特色や学校生活の様子、また、新しく開設されるコースについてお話ししていただきました。進路選択をする上で高校のことをよく知っておくことはとても大事です。よく知らないまま入学すると、こんなはずじゃなかったとなりがちです。これから夏休みにかけて、どの高校でもオープンスクールが行われます。学校の施設や雰囲気などは行ってみなければ分かりません。積極的に参加して、進路選択につなげていってほしいと思います。



職場体験学習

２年生が７月２日（木）に職場体験学習を行いました。できる限り生徒の希望が叶うようにと、町内を中心に身延町・市川三郷町・昭和町や富士宮市の事業所で行いました。仕事は、外から見ていただけでは分からないことがたくさんあります。生徒たちは、今回の職場体験学習で、それぞれの仕事の普段は見ることのできない部分を垣

間見たのではないかと思います。みんな、いずれ何かしらの職業について生活していくことになります。働くとはどういうことかを体験的に学ぶことは、将来の職業選択に必ず役に立ちます。ご協力いただいた事業者の皆さま、大変ありがとうございました。






輝城祭の取り組みスタート



６月２５日（木）に、輝城祭に向けての決起集会を行いました。輝城祭は９月１２日（土）で、まだ３ヶ月近くありますが、夏休みもあることから実質的な準備期間はそんなにありません。全校生徒で取り組む生徒会最大行事です。今年はどういう輝城祭になるか楽しみです。これから演劇を決めたり、学級旗のデザインを考えたりしていきます。一人一人が主体的に取り組み、終わったときの満足感・達成感を味わってほしいと思います。

決起集会では、体育の部のクラスカラーを抽選で決めました。以下の通りです。

１Ａ：青　　１Ｂ：黄　　２Ａ：緑　　２Ｂ：オレンジ　　３Ａ：白　　３Ｂ：赤
縦割り　赤系列：１Ａ・２Ａ・３Ｂ　　白系列：１Ｂ・２Ｂ・３Ａ

体育館にエアコン設置

６月２４日（水）、体育館にエアコンが６台設置されました。近年、猛暑のために体育館での輝城祭の取り組みがままならない状況があり、昨年度からエアコンを設置していただけることになりました。そのおかげで６年ぶりに内船歌舞伎に取り組むことができました。



今年度は、さらに期間を３ヶ月に延ばし、９月いっぱいまで設置されることになりました。輝城祭だけでなく、体育館での授業や部活動も暑さを心配することなく行うことができます。日頃から本校の教育活動を支えていただいている学校教育課をはじめとした町当局に改めて感謝申し上げます。